

明日のECO
では遅い！

より低コストで、より大きな効果！ できることから始めましょう！

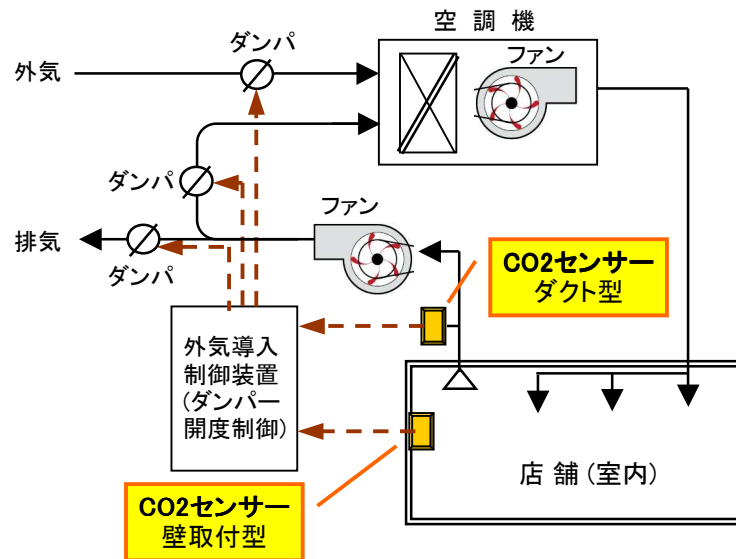
室内換気のCO2制御によるエネルギー削減

現状： 事務ビル、商用ビルでは室内空気中のCO2濃度を1,000ppm以下とすることがビル管理法により法規制されています。大まかな計算では5回／hの換気回数(3人在室、10m³の事務室)となり、一般的にタイマー等で強制換気しています。

対策の着眼点

- 1) 事務・商用ビルでのCO2発生源は人間です。
- 2) 商用ビル(百貨店、店舗)では、休日と平日によって店内人数の変動が大きい。
- 3) 外気を店内ピーク時に合わせて取り入れている場合、過剰な外気量となり、外気負荷の処理量(冷暖房)が大きくなる。
- 4) 外気導入量を在館人数の変動に合わせて合わせるために、店(ビル)内のCO2濃度により外気ダンパを制御し、外気負荷の処理量を低減する。

対策事例 店内(室内)のCO2濃度を検知し、外気導入ダンパを自動制御する事例です。



対策効果事例

外気量制御による月間冷房負荷の変化(8月)

